パナソニック 松愛会

第248回 京都歩こう会コース案内

リーダー 吉田 博一

日　時：平成29年4月28日（金）
集　合：JR湖西線 近江高島駅　10時出発
コース：北近江湖の道散策　　☆
距　離：8．2km
行　程：JR近江高島駅⇒大溝城跡⇒乙女ヶ池⇒鵜川四十八体石仏群⇒白鬚神社（昼食）⇒
　　0.4　0.5　1.4　0.8
樹下神社⇒JR北小松駅（解散）
　4.8　0.3
（単位：km）

【見どころ】

- 大溝城跡：新庄城（旧新旭町）にいた織田信澄（信長の甥）が、天正6年に築城したもので、高島郡内の商家や寺院などを移して城下町を造った。本丸の南東の乙女ヶ池は琵琶湖の内湖で、古地図によると、大溝城はこの内湖を巧みに利用した水城であり、「鴻溝（こうこう）城」とも呼ばれた。江戸時代に分部光信が大溝藩主になると、この地を陣屋として12代光謙の統治が明治維新まで続いた。
- 鵜川四十八体石仏群：近江高島の草深い山中の墓地に花崗岩の阿弥陀如来像群が見られる。東を向いて静かに並んで座る石仏は、大きさも少しずつ異なり、慈愛に満ちた顔・あどけない顔・ユーモラスな顔など、姿もそれぞれ異なってる。現在は三十三体だが、元々は四十八体が東面していた。不足のうち十三体は坂本の慈眼堂へ移され、二体は1987年10月に盗難にあった。伝承によると、1553年に観音寺城（現安土町）城主の佐々木六角義賢が亡き母の菩提を弔うため、建立したとの説が有力であったが、「為広越後下向日記」の記載から1491年には既に存在が知られており、さらに地元の古文書に、「四拾八躰」の文字が見られることから、従来の説を100年以上遡ることが分かってきた。
- 白髭神社：JR近江高島駅の南約2kmに、ある神社。湖中に朱塗りの大鳥居あり、国道161号線を挟んで社殿が立つ。「白髭さん」「明神さん」の名で広く親しまれ、また「近江の厳島（いつくしま）」とも呼ばれている。社名のとおり、延命長寿・長生きの神様として知られ、縁結び・子授け・開運招福・学業成就・交通安全・など、人の営みごと、業ごとすべての導きの神でもある。
祭神は猿田彦命（さるたひこのみこと）。

国道161号南西へ約5km

大溝城跡

鵜川四十八体石仏群

白髭神社

【次回第249回ご案内】

日　時：平成29年5月26日　（第4金曜）
コース：足利尊氏、明智光秀決戦の道　8.0km
集　合：JR嵯峨野線 亀岡駅 午前10時

【次回下見会のご案内】

日　時：平成29年5月12日　（第2金曜）
コース：歴史と緑の城陽を歩く　距離：7.2km
集　合：JR奈良線 長池駅 午前10時 出発